

平成 30 年 11 月 15 日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗研究所 環境技術開発センター 材料試験炉部

タンクヤード内の既設躯体コンクリート壁に発生したひび割れについて

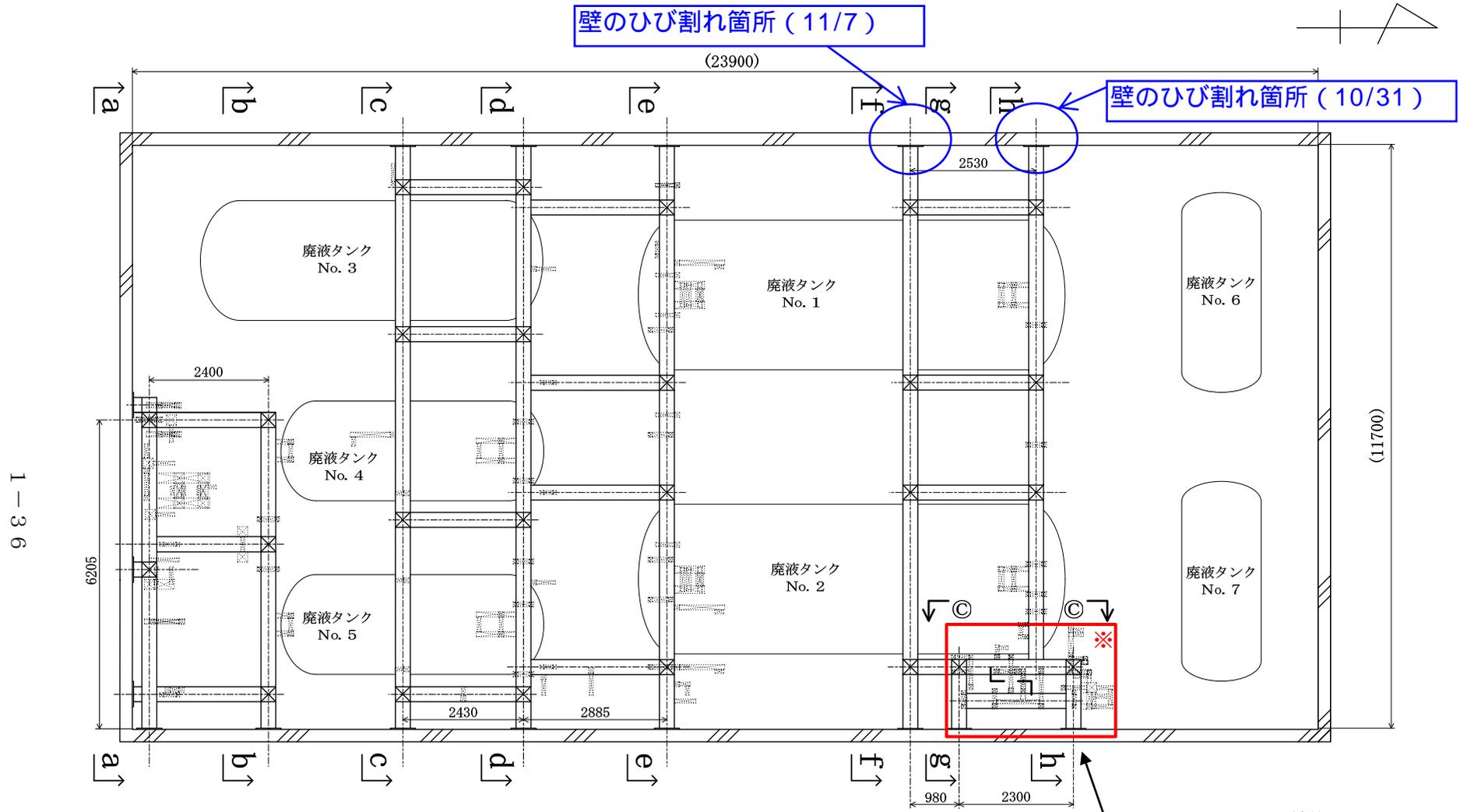
日本原子力研究開発機構 大洗研究所 材料試験炉部では、タンクヤード内の廃液配管等の復旧工事を実施しています。この工事のうち、架構造型サポートの据付を実施していたところ、平成 30 年 10 月 31 日、11 月 7 日に架構造型サポートの取付ベースプレートと取り合う既設躯体コンクリート壁の一部にひび割れを確認しました。

ひび割れは、3 列配置されている架構造型サポートのうち、北側に設置したサポートと取り合う既設躯体西側コンクリート壁の一部に発生したものです。

現時点において考えられる原因として、サポートの両端を既設躯体コンクリート壁に固定した状態で溶接を実施したことから、熱収縮により壁に引張応力が発生し、ひび割れが起きたことが考えられます。

このため、コンクリート診断士による調査を平成 30 年 11 月 15 日 に実施する予定であり、この結果を踏まえて検討を行い、既設躯体コンクリート壁の補修を行う予定です。

以 上

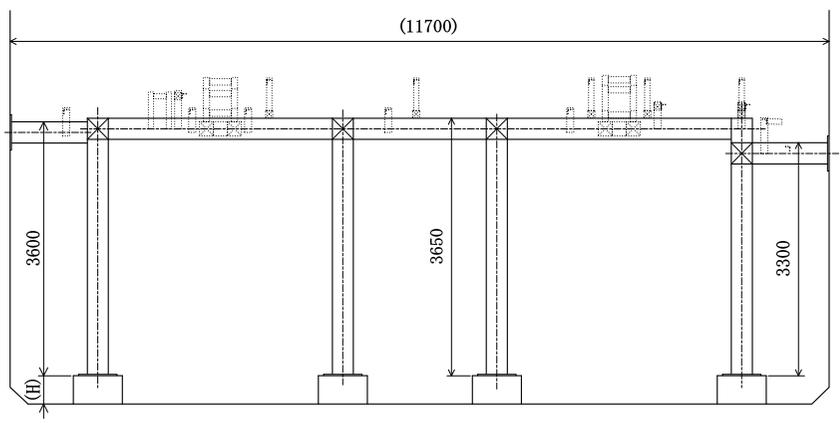


... : 配管の位置調整のための付属品

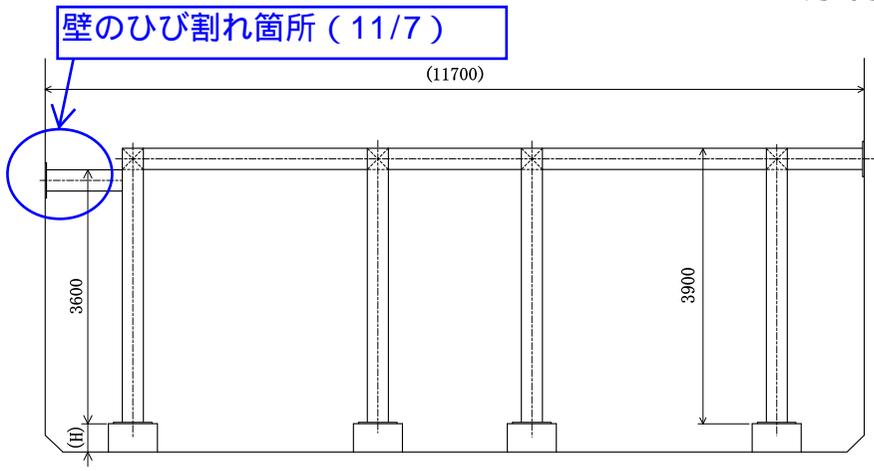
・ 完成後、サポート及び付属品に塗装を行う。

※ : 荷重及び高さが最大となる箇所 (代表箇所)

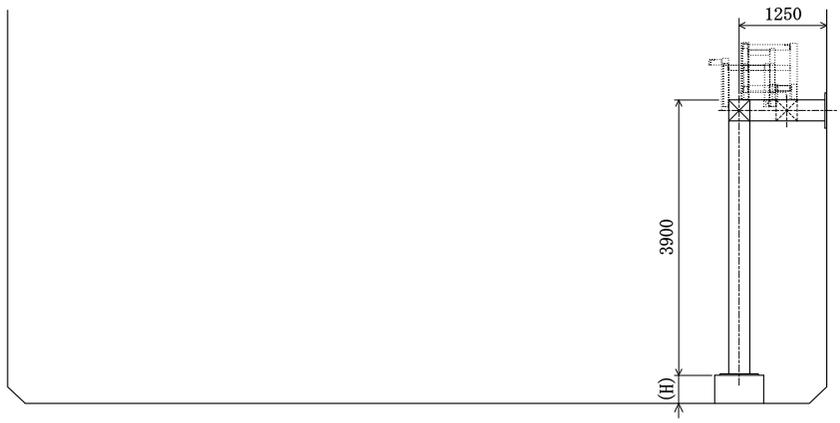
図-11 サポート (概略図) (架構造型)



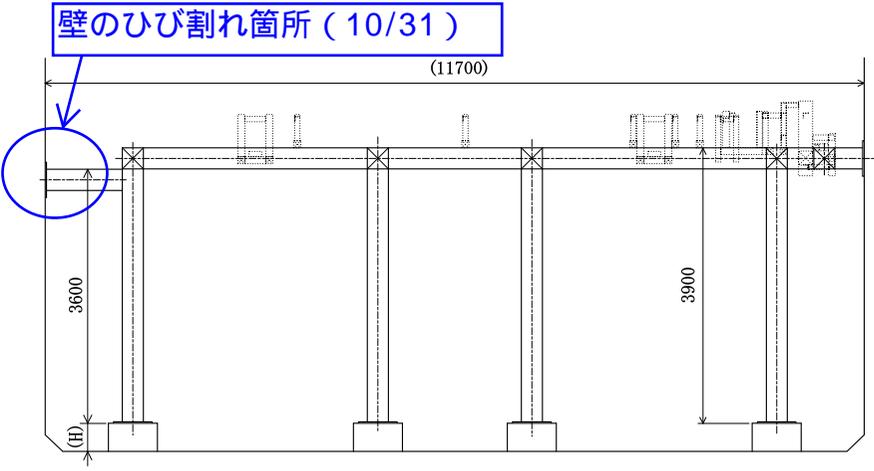
e-e矢視



f-f矢視



g-g矢視



h-h矢視

1-38

- 基礎高さ (H) は、床勾配を考慮して710 mm以下とする。
- 完成後、サポート及び付属品に塗装を行う。

.... : 配管の位置調整のための付属品

単位: mm

図-13 サポート (概略図) (架構造型) (立面図2/2)